

臨床研究情報

【研究課題名】

病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究

【研究機関】

大阪赤十字病院（多施設共同研究の一環）

【研究責任者】

救急部 山本英彦

【研究の目的】

日本では心臓突然死が年間 6 万人を超えるが、その社会復帰率はいまだに低い。本研究では、当院救命救急センターに搬入された心停止患者さんに対する、病院到着後の蘇生治療、低体温療法などの集中治療に関するデータを、多施設共同研究として前向きに登録、分析し、救急隊の搬送先病院の選定、有効な集中治療など院外心停止の社会復帰率を向上させるための治療内容を検討することを目的とする。

【研究方法】

倫理委員会承認後から 5 年間に救急隊が蘇生処置を実施し、当院救命救急センターに搬入された院外心停止患者さんの診療録調査。

【利用する情報】

病院診療録より以下を抽出

（この研究のために特別な侵襲や検査などはしない）

搬入時刻、ドクターカーへり出場情報、収容後の最初の心電図波形、中枢体温、身長、体重、収容後の処置（除細動、気管挿管、体外循環、補助循環、心血管カテーテル検査、心血管ステント留置、低体温療法）、心停止中薬剤使用、患者さん背景、血液データ、心停止に至った原因、病院搬入後の状態、発症 1 ヶ月後の生存、90 日後の生存、1 ヶ月後の脳機能、90 日後の脳機能

【個人情報の取り扱い】

研究事務局で病院診療録から患者さん氏名、住所などの個人情報を削除し、新たに番号付与、匿名化したデータベースを作成し、データと個人識別情報は連結できないようにする。データは電子化し施錠できる部屋の特定のパソコンのみでパスワードを設定し保管する。研究成果公表後 3 年間保存、その後判読不能な状態で廃棄。

【問合せ先】

大阪赤十字病院 救命救急センター

〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 5-30

[TEL:06-6774-5111](tel:06-6774-5111) Fax : 06-6774-5131